



11

2023年4月17日

7月2日

休館日 5月1日[月]+6月5日[月] 開館時間 10:00~18:00 (金・土曜日は20:00まで)

線 の 王 国

Mio KANEDA
Kingdom of Lines

金田実生

観覧料 無料
会場 千葉市美術館 4階 子どもアトリエ

主催 千葉市美術館 協力 ANOMALY



※金田中、会場内メンテナンス作業を予定しています。作業日・時間帯については美術館ホームページでお知らせいたします。なお、作業中は室外からご覧いただけます。

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art



11

つくりかけラボは、「五感でたのしむ」「素材にふれる」「コミュニケーションがはじまる」いずれかのテーマに沿った公開制作やワークショップを通して空間を作り上げていく、参加・体験型のアーティストプロジェクトです。いつでも誰でも、空間が変化し続けるクリエイティブな「つくりかけ」を楽しみ、アートに関わることができる表現の場です。

今回つくりかけラボは、油彩、ドローイング、版画と、一貫して平面作品を手掛けて高い評価を得ている作家金田実生さんをお迎えし、「線」をめぐるプロジェクトを行います。浮世絵をはじめとする千葉市美術館の所蔵品にも関わりながら、来館者との協働により、得意とする平面の表現を展開、子どもから大人まで心地よく過ごし、参加できる表現空間を目指します。

※下記のワークショップ、イベントなどの詳細はホームページでご確認ください。

ワークショップ (事前申込制)

「浮世絵の線を使って私の絵を描こう！」

2023年5月5日〔金・祝〕

1回目 | 10:00～12:30 2回目 | 14:00～16:30

各回定員15名 会場：5階ワークショップルーム

申込方法は千葉市美術館ホームページでご確認ください。



月岡年画(複製)三十一種(けさう 享和年間内室之風俗) 明治21年

トークイベント

「線・ドローイングをかたどる話
—彫刻、コンセプチュアルアート、絵画を横断して—

2023年5月28日〔日〕14:00～15:30 先着20名程度 会場：子どもアトリエ

出演：森田浩彰(アーティスト)、利部志穂(彫刻家、詩人、アーティスト)、金田実生(画家)
各アーティストの立場で「線」「ドローイング」について話します。様々な表現の中で、線やドローイングはどのような要素になっているのでしょうか。

サバティカルカンパニーもやってくるよ！

心地よい演奏が
聴けるかも！

2023年6月18日〔日〕14:00～ 先着20名程度 会場：子供アトリエ
杉浦藍、益永梢子、箕輪亜希子、渡辺泰子によるアーティスト・コレクティブ、通称サバカン。創造的な長期休暇を意味する Sabbatical な活動を多方面に展開しています。

次回予告 「つくりかけラボ12 三沢厚彦|コネクションズ 空洞をうめる」

2023年7月14日〔金〕～10月15日〔日〕

交通案内

●JR千葉駅東口から 徒歩約15分／京成バス(バスのりば7)から大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分／千葉都市モノレール県庁前方面行「霞川(よしかわ)公園駅」下車徒歩5分

●京成千葉中央駅東口から 徒歩約10分

●東京方面から車では 京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く

※地下に機械式駐車場があります(車高155cmまで) ※シェアサイクルスポットがあります。

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

〒260-0013 千葉市中央区中央3-10-8
電話：043-221-2311(代表)
<https://www.ccma-net.jp>

※館内にて新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております。

・体調のすぐれない方の来館はご遠慮ください。

※内容やイベントが変更になる場合があります。最新の状況はホームページをご確認ください。

絵を描く、立体的な作品を作る、空間を構成するなど、作品表現の方法はさまざまです。どのような表現にも関わってくるのが線です。何かを作り上げるとき、線を使って表現のやりとりが始まります。そこから作品はあらゆる方向へ展開していくのです。だから線をたどってみるのはどうでしょう。線はシャープペンシルで書き出される細くて硬い線や、定規で引くまっすぐなただけでしょうか。太くて力強い線、面のような線。ゆらゆらと揺れて頼りない線。飛び出してくるような弾む線。描き始めると多彩な線が生まれます。目に見えないものも描きあらわすことができるかもしれません。身体性を使って思い切り動いて描く。目をつぶって自由に描くのも面白い。線を探って線の王国を旅してみよう。(かねだ・みお)

金田実生

1963年、東京都に生まれる。1980年代末より作品発表を始める。1988年、多摩美術大学大学院修了。2005年、文化庁新進芸術家国内研修員。近年の主な展覧会に「アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち」(国立新美術館／東京、2009年)、「クインテット—五つ星の作家たち」(損保ジャパン東郷青児美術館／東京、2014年)、「公開制作73「金田実生 青空と月」」(府中市美術館／東京、2018年)「みつめる—見ることの不思議と向き合う作家たち」(群馬県立館林美術館／群馬、2019年)。府中市美術館をはじめ、群馬県立館林美術館、文化庁、広島市現代美術館、徳島県立近代美術館に作品が収蔵されている。

